

第 1 回マイクロフロービジュアライゼーション研究会議事録

日時：2000 年 6 月 30 日(金) 15 時より

場所：埼玉大学工学部機械工学科四階会議室

出席者：

川橋正昭、植村知正、久保園達也、佐賀徹雄、杉井康彦、田畠一二三、長岡嘉浩、名越正穂、服部泰男、速水洋、平原裕行、松本尚之、望月修、安木政史、塩崎孝壽

そのほか会員以外の方の多数のご参加を頂きました。

内容：

1.

今後の研究会運営について川橋主査より 可視化情報学会の研究会として発足したこと、会員を一応決めたこと 発足趣旨説明 2 年間で終了すること等の説明があった。

また、今後の進め方として、マイクロのとらえ方、現象として何をどこまで調べるか、計測とデバイスの開発を結びつける、問題点を明らかにする、奥行き方向の空間分解の問題などについて提起がなされた。

2. 話題提供

- (1) 日立製作所・長岡嘉浩氏よりマイクロ流路内流れの一般的物理特性、表面張力を利用したマイクロシール、シースフロー、マイクロミキサ、マイクロチャンネル内での流体輸送などについてマイクロ流路特有の現象や問題などについて話題提供があり、意見交換が行われた。
- (2) 埼玉大学・塩崎孝壽より急拡大部を有するマイクロチャンネルない流れおよび T 字型マイクロ混合管内流れの計測事例について話題提供があり、意見交換が行われた。